

サッカー選手の雇用をアシスト



横須賀商工会議所は地元スポーツチームの雇用の受け皿づくりを始める(横須賀マリノFC)

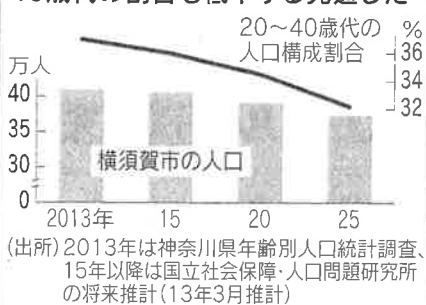
横須賀商議所 チームと企業橋渡し

プレー環境整え定住促進

横須賀商工会議所は神奈川県2部リーグのサッカーチーム「横須賀マリノFC」と連携し、選手の雇用の受け皿づくりを始める。商議所会員企業を中心に同FCのサポーター企業を募集。若手人材を求める情報をチームに提供し、就職を希望する選手を採用する。地元で働きながらサッカーに集中できる環境を整えるほか、人口減が続く横須賀市での若者の定住促進にもつなげる狙いだ。

横須賀マリノFCは横須賀サッカー協会に所属した選手で横須賀のトップチームを立ち上げ、関東リーグ参入を目指すチーム。選手は現在33人で、

横須賀市の人口は減少が続き、20~40歳代の割合も低下する見通しだ



社会人が13人、大学生が20人となっている。社会人のうち8人は横須賀市外で働いており、大学生のなかでも就職先を考えている人がいる。入団を希望する選手の勤務地が都内で平日の練習に間に合わず、断念したケースも数件あるという。

横須賀商議所は地元で働きたい選手の雇用を支援する。「サポーター企業」として、まず商議所の議員事業所90社が登録し、趣旨に賛同するのほかに約5000社の会員企業にも呼びかける。

人材を確保したい企業が説明会などを開いて情報を選手に提供。チームからも求職している選手の情報をサポーター企業に連絡してマッチングする仕組みだ。正規雇用だけでなくインターンシップ(就業体験)やアルバイトも募集できる。

採用する場合は、チームの練習日や試合日に配慮し、仕事と練習が両立できる環境づくりに努めてもらう。マリノFCの豊田哲也ヘッドコーチは「横須賀で就職し、生活の基盤をしっかり整えたい。うえでサッカーに取り組める環境ができることは、戦力の安定や新たな選手獲得にもつながる」と期待する。

サポーター企業になるとメンバー表やチームのホームページに社名を掲載し、企業のPRやイメージアップにつなげることもできる。「今回の取り組みを大企業が中国進出を強めている(同支店情報部)と分析する。ただ上海での株価下落などもあり経営環境は不透明との認識が強まって

フローズンワイン販売

メルシャン 湘南の海の家で

メルシャンは18日かを提案する。フローズンワインは赤「オーカフェ湘南」(藤沢市)で、同社のワイン「フレンジア」を使ったフローズンワインの展開を始める。ロックグラスに入れてワインと相性の良いときに飲む。ロックグラスに入れてワインと相性の良いときに飲む。ロックグラスに入れてワインと相性の良いときに飲む。

中高年対象に体験授業開催 文京学院大
文京学院大学は18日、中高年を主な対象にした「60歳からのオープンキャンパス」を開催する。歴史を題材にした体験授業や健康相談など、シニア層の関心が高い内容を

未来担う子ども 県本庁舎に写真投影 県、観光地紹介映像と

神奈川県は16日、豊原有形文化財である県庁本庁舎(通称キングの塔)に、県の未来を担う子どもたちの写真を投影するプロジェクト「未来の子どもたち」を開催する。投影された写真は、子どもたちが自由に撮影したもので、県庁本庁舎の展望台から撮影された。投影された写真は、子どもたちが自由に撮影したもので、県庁本庁舎の展望台から撮影された。

中国進出 6.9%減

県内企業 人件費上昇など響く

民間調べ

の企業の進出は403社と増加した。特に1千億円以上の企業が21社と2倍以上に増えており、1億~10億円未満の企業が16.5%減の213社

て見る大企業が中国進出を強めている(同支店情報部)と分析する。ただ上海での株価下落などもあり経営環境は不透明との認識が強まって

ミュージアムシンフォニーホール(川崎市)は25日、吹奏楽は元NHK交響楽から始まる夏の音楽祭「フエスタサマミュージアム」を開催する。吹奏楽は元NHK交響楽から始まる夏の音楽祭「フエスタサマミュージアム」を開催する。吹奏楽は元NHK交響楽から始まる夏の音楽祭「フエスタサマミュージアム」を開催する。

イベント 楽団も
「ファイナル」(7月25日)